

特集：塩竈市の文化財

まちの記憶、身近にある歴史

縄文時代から人が住んでいた塩竈には、市内のあちこちに古い時代のもものが残っています。今月は、そんな市内の文化財をご紹介します。実際に見て、触れて、歴史を感じてみませんか。

まちの古い記憶を物語る文化財

市内には、国指定文化財の鹽竈神社の社殿や鹽竈ザクラ、県指定無形民俗文化財の御釜神社の藻塩焼神事、市指定文化財の伝統芸能、塩竈神楽など数多くの文化財があります。そのほか、地域に残る多くの石碑は、まちの記憶を物語る貴重な資料といえます。

文化財のなかには、先の大震災で被害を受けたものも数多くみられました。一部修復を行いましたが出来るだけ早く全て復旧させ、貴重な文化財を後世に残していきたいと考えています。

曲木島-(市指定・名勝・新浜町一丁目)

「古今集」などに、この島を詠んだ歌が数多くみられ、歌枕の地として知られています。



築港の碑-(海岸通)

明治時代、菊地雄治村長が村民有志と築港工事を計画、明治15年に起工し、明治18年に終了しました。この碑は、それを記念して建てられました。



駒犬城跡-(東園寺墓地・旭町)

鎌倉時代、源頼朝の家臣伊沢氏(留守氏と改める)の城でしたが、後に留守氏の重臣佐藤信高の居城となりました。現在は、石碑が東園寺境内にあります。



御釜神社-(本町)

・藻塩焼神事(県指定・無形民俗文化財)
・四口の神釜(市指定・有形民俗文化財)
塩の製法を伝授した「鹽土翁神」をまつています。四口の神釜は、鹽土翁神が使ったとされる鉄釜を模して造られたもの。



7月には古代の製塩法を伝える「藻塩焼神事」が行われます。

雲上寺(南町)

- ・雲上寺庭園・弥陀来迎図碑
- ・楊柳観音図碑・小池曲江の墓

小池曲江は塩竈出身で、江戸時代に活躍した仙台四大画家の一人です。弥陀来迎図碑は曲江の絵を彫ったものです。



煙波亭の石碑(愛宕神社・泉ヶ岡)

煙波亭は、江戸末期の鹽竈神社の神宮、藤塚知明の別邸跡です。林子平など、多くの文人墨客が来亭しました。



「石碑は、おもしろいことがいっぱいあります」

藤橋経雄さん(いしがみ愛好会)

「塩竈学問所・いしがみ愛好会」は、平成21年度の「塩竈学問所講座」で拓本のとり方や読み方を習った受講生が、継続して勉強したいと結成したものです。

拓本をとってそれを読んでいくといういろいろな発見があり、楽しくてやめられません。11月には、東園寺にある「宝篋印塔」に刻んである文章を拓本にとりました。この文章からも今まで知られていない、新しい発見があります。



▲「弓取舞」を練習する竹澤さん(右)と平岡さん(左)

平岡さん 10月の三中祭で、初めて学校で『弓取舞』を披露しましたが、部員は少ないですが、最近神楽をやりたい、と言ってくれる人が現れて、神楽の魅力が伝えていることができてうれしいです

「後輩たちにも受け継いでいってほしい」

竹澤有紗さん・平岡心さん

(第三中学校郷土芸能部)

竹澤さん 神楽を舞う先輩の姿にあこがれて始めました。週に2回、塩竈神楽保存会の方々に舞や楽器を指導いただいています。覚えることが多く大変ですが、神楽は奥が深いと感じています

鹽竈神社(国指定・重要文化財)・志波彦神社(市指定・有形文化財)(一森山)

- ・鹽竈神社の鹽竈ザクラ(国指定・天然記念物)
 - ・鹽竈神社の多羅葉樹(県指定・天然記念物)
 - ・老杉:御神木(市指定・天然記念物)
 - ・文化燈籠(市指定・有形文化財)
 - ・文治鉄灯・石造りの日時計・勝画楼(法蓮寺跡)
- 陸奥国一の宮と称される鹽竈神社。その境内には、指定文化財が多くあります。



浦戸の文化財

浦戸諸島は、多くの場所から貝塚が発見され、縄文時代から人々が生活していたことが確認されています。寒風沢は江戸時代に港として栄えた歴史があり、野々島には隠れキリシタンの伝説、朴島には仙台藩の財宝伝説、石浜はラッコ船で繁栄した白石廣造さんの出身地であるなど、それぞれの島にさまざまな歴史と、それを伝える史跡や伝説、昔話が残っています。



▲六地藏(寒風沢)

浪切不動尊(権現堂)



防災、大漁、眼病の仏として、毎年8月に町内の有志で祭りが開かれています。

月見の石(月見ヶ丘)

江戸時代、松島湾を一望できるこの地には酒造業阿部勘九郎家の別邸があり、当時の文化人が集まって、月を愛で、詩歌を詠じていました。



母子石(白菊町)

今から1200年前、多賀城政庁が完成しようというとき、人柱に選ばれた父を見送った母と子の足跡が残っていると伝えられています。



「文化財を

まちの魅力に

高橋守克さん

(塩竈市文化財保護委員会会長)

自分の住むまちについて、その成り立ちや歴史を知ることが、まちに愛着を持つきっかけになると思います。

市民の皆さんに興味を持っていただければ、市からも積極的に情報提供していただければと思います。

また、文化財を活用して観光やまちづくりを生かすこともできると思います。広く情報を発信することで、それがまちの魅力になっていくのではないのでしょうか。



「昔の人の思いが伝わってきます」

佐藤愛由美さん(ケーブルテレビマリンネット)

取材で出かけた時、話を聞いたりすると、塩竈にはいろいろな古いものが残っていることに気付きます。昔の人が、このまちで、感動してできあがったものが「文化財」として今に伝わっているのだと思うと、そういうものがたくさんあるって、素敵なことだと思います。

そういう良さを、これからも発見していきたいです。



▶鹽竈神社にある「亦無岡」の石碑

もっと知りたい!文化財

タイムシップ塩竈(吉番館4階)

*開館時間は市民図書館と同じ
縄文時代から現代までの塩竈の歴史資料・文献を展示しています。



▲「まちの歴史がわかって楽しい」玉川中学校総合学習でタイムシップ塩竈を見学

鹽竈神社博物館(塩竈神社内)*年中無休

入場料:大人200円 中高生150円 小学生 80円(団体割引あり)
鹽竈神社の宝物を中心に、5000点以上の資料を収蔵しています。伊達家の奉納品や製塩関係、漁業関係資料も展示されています。

ホームページ 文化の港シオーモ <http://shiomo.jp/>

本 『塩竈市史(別編Ⅱ)』『塩竈市の文化財ガイド』
*市民図書館でご覧いただけます。

生涯学習課 ☎362-2556